

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年 11月9日	
		作成部署	土木建築部道路総括室	
事業名	都市計画道路 外環状線(第5工区)	構想番号	(土・道計) 構-19-	
		地区名	長岡京市井ノ内 地内	
概算事業費	24億円	事業期間	15年	
事業概要	L=358m W=22m			
関連する公共事業	京都市都市計画道路事業 伏見向日町線、中山石見線			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・山林の荒廃を防ぐため 建設資材に間伐材の使用 促進が求められている。	・樹木支柱等の建設資 材に間伐材の使用を図 る。	△
	生活環境	・現道はアスファルトに より水の循環が妨げられ るため改善する必要がある。	・歩道を透水性舗装に することにより、雨水 の地下還元配慮する。	△
		・住居系地域に近接して おり、騒音等沿線に与え る影響を抑制する必要が ある。	・高機能性舗装の使用 により、沿線に与える 騒音の低減、雨天時の 視認性の向上等に寄与 する。	△
地域個性・文化環境	・付近は市街化区域内で あるが、未利用地が多く 存在する。秩序ある市街 化を図る必要がある。	・自動車交通の円滑化 を図りつつ、基盤整備 を進めることで秩序あ る市街化を誘導する。	△	
	・市街化により減少する 樹木を保全する必要があ る。	・地域にあった街路樹 の植栽を行うことで、 自然環境の保全に配慮 する。	△	
地域の環境像	計画路線周辺の広陵とした田園風景の保全を行い、秩序ある生活環境と都市形成を図る。			
特記事項	なし			